

保育沖縄

—ほいくおきなわ—



第62号

◀日本保育協会沖縄県支部HP

2023年(令和5年)9月29日(金)

発行：日本保育協会沖縄県支部 支部長：幸田すがよ 編集：広報部/連絡先：098-884-5795

令和5年度も会員皆様のご期待に沿えるよう役員一同、頑張った。総会もお陰様で、無事終わることができました。

9月に入っても夏を思わせるような暑い毎日が続いており、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。沖縄は旧盆を終え、各地域からエイサーの音色が聞こえており、秋の夜空に浮かぶ、美しい月を眺める頃となりました。



支部長あいさつ

日本保育協会沖縄県支部 支部長 幸田 すがよ

会員の皆様には、日頃の支部運営にご協力を賜り心より感謝申し上げます。去った5月29日に開催いたしました第73回総会もお陰様で、無事終わることができました。

その内容は、こども一人につき一定時間までの利用可能枠の中で、時間単位等で柔軟に通園が可能な仕組みという事ですが、今後、様々な課題が懸念されますが、その受け入れ対策については、各支部、各地域で対応できるようにしておかなければいけないと感じました。



積と言った内容でありました。今後、私達の認識を深めるためにも、その内容に詳しい方の研修会も開催できたらと考えておりますので、その際は多くの会員のご参加をお願い致します。

去った6月には、各園、理事会や役員、現況報告など色々忙しい日々を送られたことと思います。夏の疲れが秋にでると申しますが、健康には十分に留意なされ、会員の皆様方のご健勝を祈念申し上げます。

令和5年度 第73回 定期総会並びに研修会

日時：令和5年5月29日(月)
場所：ロワジュールホテル&スパタワー那覇(天妃の間)
主催：社会福祉法人 日本保育協会沖縄県支部

5月、第73回定期総会を滞りなく終わることができました。また、研修会では講師の大江恵子氏をお招きし「リーダーとしての園長・施設長の心得」について学び合うことができました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



★★新加入園紹介★★



社会福祉法人 大伸福祉会 しらかわこども園 【八重瀬町】

社会福祉法人大伸福祉会は、のびる保育園(昭和56年度開園)と、令和5年4月からは八重瀬町立幼稚園の認定こども園化により、新たに公私連携幼保連携型認定こども園として「しらかわこども園」を開園しました。3歳児～5歳児の子ども達が、安心して園生活や遊びを楽しみ、かつ子どもの個性が豊かに発揮されるような教育・保育や、子育て支援事業、特別支援保育にも取り組みます。園庭には大きな木々や草花も多く、令和7年度には新園舎を建設し「自然を感じ・人を感じ・遊び体験のある園」として、子どもも大人も一緒に成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



社会福祉法人 幸福義会 ねたて保育園 【宜野湾市】

小規模保育園として2017年度に開園し、6年目を迎えたねたて保育園です。小規模保育園ならではの保育を生かして、保育理念としている「愛情いっぱい保育」を職員一同、目指しています。子ども達に愛情いっぱい関わり、どの子も愛されていると感じられる保育を子ども達や保護者へ届けていきたいと思っております。これからも子ども達、保護者の方々、職員の幸せを祈り保育を楽しんでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



社会福祉法人 わかめ福祉会 高江洲こども園 【うるま市】

高江洲こども園は、うるま市立高江洲幼稚園の移行に伴い、令和5年4月にうるま市高江洲に開園致しました。園舎前にはサトウキビ畑が広がり、静かな環境ではありますが、商業施設にも近く過ごしやすい地域です。開園したばかりで思惑錯誤の毎日ですが、高江洲幼稚園での教育・保育を受け継ぎつつ、地域の方々に見守られながら、子どもも大人も安心できる場となるよう日々、精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

★★第45回全国青年保育者会議沖縄大会について★★

日時：2024年10月上旬 場所：ロワジュールホテル

令和6年度10月に全国青年保育者会議沖縄大会が開催される予定です。実行委員長の安里淳先生と青年部長の安座間卓樹先生をはじめ大会実行委員会が大会に向けて、準備を進めております。皆様、どうぞ、よろしくお願い致します。



大会PV作成に向けての1コマ(撮影風景)はこちら



全国大会に向けて沖縄の綺麗な海をバックに撮影中。左から安座間先生、安里先生、大城先生、崎濱先生。

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになれたらと思っております。

「SDGs を意識した保育 豊かな自然の循環」

【名護市】社会福祉法人巣立福祉会 すだつ保育園



地球温暖化防止を防ぐために自然エネルギーの普及と環境教育を目的としている。発電設備で園の消費電力の約1割を賅える。手回し発電機による発電体験も行った。



裏山の自然物のほとんどが、自生している樹木。道の舗装も自分たちで行った。登っている途中には多様な自然物だけではなく、ブランコや手作り滑り台などの遊び場もある。



水、光、風、土など自然の循環が豊かに行われている。すだつこファームで育ったミニトマト。瑞々しくて美味しいトマトが実っていた。



園庭には、大きなモモタマナの木陰があり、夏場でもその影の下で涼しみながら遊ぶことができる。2階のベランダからは緑豊かな景色を眺めることができる。



ハッピーとラッキーのヤギ小屋。新しい小屋のペンキ塗りを担当したのは5歳児。つい先日、園で飼育していたハッピーとラッキーの赤ちゃんが誕生した。

保育園の探検広場の見晴らしのいい高台でヤギを放牧しています。ヤギを放牧すると、草を食べてくれるので、草刈りをする必要がなくなるだけでなく、ヤギの糞は乾燥しているので畑の肥料として活用することもできます。

また、ヤギの糞の肥料に加えて、コンポストを活用して給食の残飯を肥料にして、畑の栽培に使用しています。そして農薬はほとんど使わずに、地下水を用いて畑や植物の水やりを行うことなどを大切にしています。

動画CHECK!!

▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

本園では自然環境も大切にしています。園庭からぐるっと坂道を登れば、自然豊かな「たんけん広場」に辿り着きます。その坂道は、0歳児の子どもにとっても、ちょうど良いぐらいの傾斜になっています。行く先々で様々な自然との出会いがあります。子どもたちは、意外と物知りで、ダンゴムシがどこにいて、触るだけでころっと丸くなるなど教えてくれます。

すだつ保育園は、SDGsにも意識した取り組みを行っています。先日、太陽光を活用した取り組みが（5歳児が手作りソーラー提灯を作った事例などが）沖縄タイムスに掲載されたこともありました。ソニー損保生命が投資しているソーレア基金を活用したのですが、県内初の「そらべあ発電所」の設置でした。



すだつ保育園
主任保育士
天久優奈先生



すだつ保育園
園長
嶺井多美子先生

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになれたらと思っています。

「子どものやってみたいを徹底的に応援する保育」

【宜野湾市】社会福祉法人輝福社会 ゆうわ認定こども園



お昼時間の子どもの姿。0～2歳児は少人数と保育者と一緒に丁寧な関わりの中での食事。幼児は自分たちの好きなタイミングで食事を頂く。子どもの自己決定を大切にしている。



園庭は、平らではなく築山や固定遊具があり様々な空間が設けられている(左上写真)。ピオトープもあり、自然の雨水が溜まる。そこに寄ってくる生き物を観察する楽しさを味わっている(左下写真)。乳児園庭もあり、ランチルームから見渡せるようになっている(右写真)



ゆうわ認定こども園
副園長
宮里弘美先生



ゆうわ認定こども園
園長
佐喜眞秀輝先生

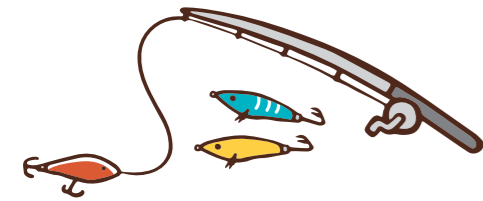
10年前に子どもの自己決定を大切にするために保育を転換しましたが、当初はとても大変でした。もとに戻そうか葛藤した時期もありました。それでも、めげずに本園の理念をベースにしながら県外の優れた保育実践の良いところを取り入れていきました。

子どもが「食べたい」と思った時に食事を頂けるように保育を展開するためには、環境が追いつかないと出来ません。子どもがやってみたいということを支える環境があるからこそ、保育者は落ち着いて子どもの遊びを見守り、子どもの食事を丁寧に援助できると思います。

運動遊びというプログラムを設けなくても、子どもが自然と遊びの中で体を使って運動を楽しめるように園庭や室内環境を工夫していきました。また保育を変えていく時に、以下のような視点で見直しました。子どもに不必要な声かけをしていないか？何か問題（噛みつきや大人への依存心が強いなど）があったら家庭環境のせいにしていないか？子どもが「できない」と言ったときに、保育者が「こうするといよいよ」とすぐに答えを教えていないか？など。このように、保育のプロセスを一つひとつ丁寧に見直していきました。

また以前から、保護者に保育士体験を（9時～16時の時間帯）してもらう機会を設けています。保護者も保育中、携帯使用は禁止で子どもたちと関わり、園の給食やおやつも一緒に食べて、お昼は個人面談を設けています。保育士体験を行った保護者の方には、参加記念に記念撮影付きのバッチをプレゼントしています。全体の3分の1は参加して下さっていて、中には両親どちらも参加する方もいます。

保育をするときに意識しないと、ついつい言葉かけが多くなり、子どもの考える力を奪ってしまうことがあります。今日も、ミストを出している時に、支援児が空を見つめて、「虹に見える」と呟いていました。このように、「出来たか出来てないか」というような視点で見るとは、子どもが何を感じて、どうしたいのかを読み取りながら、子どもが「やりたいたい」を支えていきたいと思っています。



幼児クラスは異年齢保育を行なっている。最近、フリー保育者（真ん中写真）が釣った魚拓が室内に飾られている（左写真）。釣った魚を捌く様子を子どもの目の前で見せた。興味を持った子どもがいつでも図鑑を開いて魚のことを探究できるような環境構成（右写真）。



保育士体験の参加記念のバッチ（左写真）。先日、元校長先生がいらして、ワークショップを行った時の製作物（真ん中写真）。蝶々の話をした後に、貝殻やはんたごて等を用いて、それぞれの蝶々を製作した。保幼小連携にも繋がっている。園庭と園舎の間にミストを設けて、暑さ対策を行なっている（右写真）。

動画CHECK!!



▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになれたらと思っております。

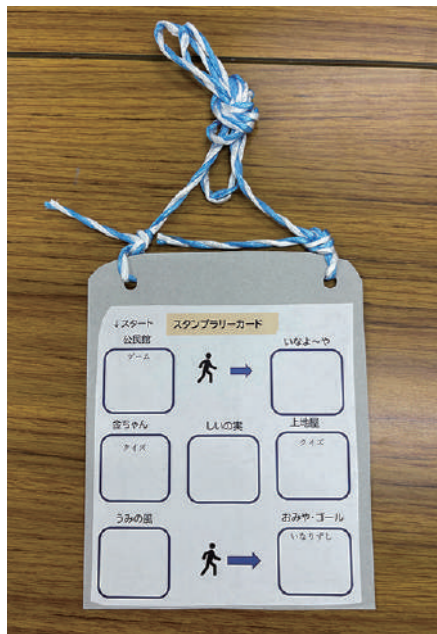
「八重瀬町」社会福祉法人綾福祉会 あらしろ保育園 「地域に根付き見守られる保育」



地域の公民館で、保育園児と子育て中の親子の交流事業も行った。音に乗ってゆれようと題して、おすすめわらべうたと体操を楽しんだ。



保育園の隣にあらしろ公民館。その間に広場があり、園児はその広場を利用して遊んでいる（左写真）。子どもたちが遊んでいると、自然と地域のおじいちゃんやおばあちゃんが見に来てくれる（右写真）。園には安心感を地域には元気を与えてお互いプラスになっている。



◀後期（10月）に実施したスタンプラリーでお宮を目指そうのカード。



0歳からおじいちゃんまで参加し公民館をスタートして地域のいろいろな場所を巡った。「心と体の食育づくり」と題し食育伝導室のオパネちゃん・地域老人会・保育園で活動。



あらしろ保育園のお散歩マップ（左写真）。牛小屋や商店、あらしろ神宮などが記載されている。Googleマップのような客観的な表記ではなく、その園で暮らしている保育者や子どもの視点から描かれている。農家の方など、地域の方々との繋がりを大切にしている。



麗で、3〜5歳児が喜んで収穫してきました。お散歩に行くと、おおかど商店と八百屋さんが見守りながら「気をつけて帰りなさいよ」と伝えてくれます。また、散歩で消防署にも行くことがあるからなのか、消防車が通った時に、手を振っていたら公民館の前には停まってくれたこともありました。

昨年度、公民館の区長さんからの声かけを頂、地域活性化助成事業に参加する機会を頂きました。地域活性化助成事業とは、公益財団法人沖縄県地域振興協会の地域活性化の為に助成を受けて活動する事業です。公民館等を活用し、前期（6・7・8月）後期（9・10・11月）とⅡ期に分けて、地域の子育て中の親子や老人会などと一緒に活動を楽しみました。

このように、本園は、地域との繋がりがあっての保育だと実感しています。先日、園の後ろに住んでいるおじいちゃんが「日曜日は子どもの声が聞こえないから寂しいよ」と話してくれました。その時に、地域から愛されていると実感しました。これからも、地域との繋がりを大切にしていきたいと思えます。

あらしろ保育園の地域は、3世代同居が多く、子どもたちの子育てや教育に熱心で、祖父母は保護者の仕事を支援や子どもたちの送迎も協力的で、保育園運営に対しても理解と協力を頂いています。地域があつての保育園だと思っています。子どもたちが外で遊んでいると見守り隊として、地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちが見に来てくれます。

先日地域からの愛を感じるエピソードがありました。本園のお散歩コースの中に、牛小屋がありまして、そこに散歩に行くと牛を見学していたのですが、その農家の方が、「手洗い場と休憩場」を子どもたちのために設けてくれました。また、ピーマン農家の方から出荷は終わったけど（商品にはならないけど）、まだ実があるので、収穫体験のお誘いを受けました。こちらからすると綺麗な



あらしろ保育園
主任保育士
國吉東美先生



あらしろ保育園
園長
外間綾子先生

動画CHECK!!



▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

保幼小接続について 架け橋カリキュラムの開発をいかに進めるか



無藤 隆氏
(白梅大学名誉教授)

経歴：小学校学習指導要領・幼稚園教育要領などの改訂、また架け橋プログラムの作成などの委員会の主査を務める。

現在、幼児教育を受けて小学校のつながりをもっと広げていこうとしています。その流れの中で国として、架け橋プログラムを作ろうとしています。現在のスタート・カリキュラムやアプローチ・カリキュラムを発展させ、幼児の年長の一年間と小学校の一年生の一年間のどの単元・活動でもをカリキュラムとしてつなぐというのが「架け橋カリキュラム」として進めているものです。

では、具体的に何をすればいいのでしょうか。幼児期の姿の発展として、1年生の教育というものが展開していきますし、小学校には教科があります。就学前施設でやっていること真似て、小学校1年生でも同様の保育をしないとは言っていないのです。小学1年生は1年生としての展開があります。いくら子どもの個性と言っても、きちんと教えるのですが、導き方に、子どもの個性や興味を生かしながらやろうよということなのです。

例えば、子どもは幼児期の終わりまでにひらがなをたいいは読めるが、一字ずつで読んでいます。ひらがなであろうと、知らない言葉だと、読めていないのです。「たんぽぽが咲いていて」と書かれていると大人は意味を理解できますが、子どもの場合は「タンポポガサ、イテ」というふうに、区切るの意味がわかっていない。多くの子は知っている単語は読めるが、単語の意味がわからないこともある。そういうのを感じずに学んでいるのです。算数なんかもそうです。どんぐりで、足し算も引き算もできています。でも小学校1年生の授業は筆算ですよ。幼児期の子どもにとって感覚的にはわかってはいるけど、筆算は難しいのです。さらに桁の概念が入ってくるのもっと難しくなってきました。つまり、直感的な理解と手順として明確にできる理解は、レベルが違うのです。

国語においては、自分が思っている、文章に書くというのは難しいのは難しいですよ。動物園に行ったと後に、私たちは映画のように写真のような場面が出るが、幼児に聞けば、喋りますが、それを作文してごらんと言われると固まります。幼児は色々と考えているが、それを文字にするのは難しいのです。書くことをよっぽど、明確にしないと難しいのです。

実は、小学校ではそのように幼児が経験したことをもう一度、学び直しているのです。その事情を小学校の先生に分かってもらう必要があります。それが見えないと、たとえ保育園や幼稚園、認定こども園に小学校の先生が見学に来たとしても「ああ遊んでいるね、小学校では、座って学習スタートだよ」ということになってしまふ。楽しい遊び以上のことが、その先生には見えてくると、接続の意味も変わってくるのです。

では、幼児期の学びはどういうものなのでしょう。子どもたちは色々な体験をしています。色々なことを知っています。幼児期の子どもは、それを明確に言えるわけではなく、体験的な芽生えとなっていて、将来のどこかで役にたつと言えるでしょう。1年生の授業に出てくることもあるが、その将来に繋がることもあります。それを小学校も意識して、受け止めようということ。何か始めた時にもっとやりたくなる。そうすればいいんだらう。そういう工夫がどんどん起きてきます。身近な環境にあるさまざまなことに興味を抱き、かかわり、学びに向かう力にも繋がりますし、工夫していきます。「あ、そういうふうに使えばいいんだ」ということを知ります。そのような経験を活かしていけば、もっと小学校で勉強が楽しくなると思います。

小学1年生は、小学校の低学年の授業を、なんとなく分かっています。字を書くことなど、ひたすら練習ドリルを行うこともあると思うが、やり方次第で変わってきます。例えば、文字を書くときに子どもにとって「とび」「はね」は覚えにくいと思います。でも、それは指導を工夫すれば、もっと簡単にイメージができます。全てのひらがなは一筆書きであり、そういうことを伝えると字を覚えるのが楽しくなります。算数だと「7+4は?」「11」になることは分かる。しかし、その数字を縦に書いてしまうことがあります。または、11を一の位に書いてしまうこともあります。そんなときに、「この1とこの1一緒なのかな?」と問うのです。おはじきを使うと、同じ1だが、重みが違うことに気がきますね。

例えば、「大きなかぶ」という絵本がありますね。子どもたちに聞いてみるとします。すると、「ねこも出るよ」「犬も出るよ」などなど発言してくれて、子どもは、だいたいのお話は分かっているのです。そのどこかに謎があります。例えば、「でも、さあ、最後にネズミが出てきて、それで抜けるっておかしくない?」や「猫とネズミけんがしていない?」などという問いが出ると対話が広がりますね。もっと高級な謎ですと「他に何が出てくるかな?」という問いが生まれるでしょう。そうすると、ドーンとなどに包まれます。実は、「大きなかぶ」という絵本は謎だらけなのです。1年生はそこまでいきませんが、大きなかぶ的に実際に身体を繋いで後ろに引くと、うまく抜けないのです。「じゃあ、どういふ人が出てきたら抜けるかな?」「『うんとこしょ、どっこいしょ』という言葉以外は?」など問いを投げかけてみるのです。当たり前物語の筋を淡々とすると終わってしまうと勿体無いです。本来、小学校の授業は、謎が沢山あって、考えていくことが大切なのです。算数の計算も、どうなっていくかというふうに広がっていくのです。

今後は、保育者と小学校の先生はお互いにもっと知る必要があると思います。小学校の先生は保育を、保育者は小学校の授業を見る必要があると思います。ぼんやりみてもわからないのです。どちらも、解説が必要だと思えます。その先がある。どんな芽生えがあるか踏み込んで見てほしいのです。小学校も優れた先生は、一律に教えているわけではないのです。いかにして子どもの考えを引き出そうとしているか苦心しています。保育場面において色々な芽生えがあるわけで、保育者として意識して行うことで繋がりが生まれるのです。その意識する時に、例えば「10の姿」が出てきます。10の姿の「数量、図形の関心・感覚」ということを考えると、それをどんぐりを拾って数えたりするよね。カルタあそびする時に、どっちが多いか数を比較しているよね。さつまいも収穫の時に、どれが多いか比較しているよね。など色々な場面で数えていることがわかります。それを整理して、伝えると、小学校の先生は驚くと思います。拾い出し集と言ってもいいと思います。そういうことをもっともって意識的に行っていくと小学校の授業が楽しくなっていくと思います。どの教科も幼児期に芽生えがあるので。もちろん、就学前施設は多様性があり、入学当時は子どもの体験も多様性があるでしょう。先ほどの事例で話すと、地域性や施設の状況に応じて別に就学前の施設に合わせてキュウリじゃなくてもいいのです。ピーマンでもなんでも野菜や植物として多様に展開できると思います。もう一つは、子どもによって経験の違いがあるのでしたら、知っている子が知らないこどもに解説すればいいと思います。このように、それぞれの個性や体験の違いを活かす授業を行なった方がいいと思います。



今後は、保育者と小学校の先生はお互いにもっと知る必要があると思います。小学校の先生は保育を、保育者は小学校の授業を見る必要があると思います。ぼんやりみてもわからないのです。どちらも、解説が必要だと思えます。その先がある。どんな芽生えがあるか踏み込んで見てほしいのです。小学校も優れた先生は、一律に教えているわけではないのです。いかにして子どもの考えを引き出そうとしているか苦心しています。保育場面において色々な芽生えがあるわけで、保育者として意識して行うことで繋がりが生まれるのです。その意識する時に、例えば「10の姿」が出てきます。10の姿の「数量、図形の関心・感覚」ということを考えると、それをどんぐりを拾って数えたりするよね。カルタあそびする時に、どっちが多いか数を比較しているよね。さつまいも収穫の時に、どれが多いか数を比較しているよね。など色々な場面で数えていることがわかります。それを整理して、伝えると、小学校の先生は驚くと思います。拾い出し集と言ってもいいと思います。そういうことをもっともって意識的に行っていくと小学校の授業が楽しくなっていくと思います。どの教科も幼児期に芽生えがあるので。もちろん、就学前施設は多様性があり、入学当時は子どもの体験も多様性があるでしょう。先ほどの事例で話すと、地域性や施設の状況に応じて別に就学前の施設に合わせてキュウリじゃなくてもいいのです。ピーマンでもなんでも野菜や植物として多様に展開できると思います。もう一つは、子どもによって経験の違いがあるのでしたら、知っている子が知らないこどもに解説すればいいと思います。このように、それぞれの個性や体験の違いを活かす授業を行なった方がいいと思います。

日本保育協会沖縄県支部 顧問弁護士ニーズ調査結果

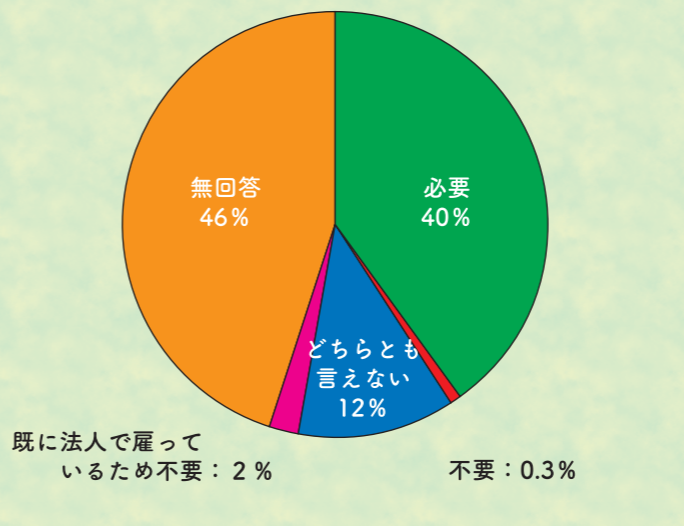
調査／日本保育協会沖縄県支部 調査研究部
期間／第1回・令和5年2月13日～2月18日
第2回・令和5年3月27日～4月8日
※回答数が会員の半数以下だったため再度実施
対象／日本保育協会沖縄県支部加盟保育施設
回答数／160件

はじめに
人出不足が騒がれる中、女性の社会進出も進み、保育施設は必要不可欠な生活インフラとなりました。保育園・こども園も増え、様々な子育てニーズに対応するために各施設が努力しているのが現状だと推察します。
しかし、行政対応の複雑化、「働き方改革」への対応、事故への対応、ハードウェアへの対応、人材不足等々、保育業界を取り巻く課題は山積です。このような社会の変化と多様なニーズに対応するためには今までは違う対応を求められている現状があるのではないのでしょうか？
様々な課題に対応するために、法人単体で顧問弁護士を雇うことは難しいとのご意見が協会に寄せられたため、今回、顧問弁護士を協会に雇うことについてアンケートを実施いたしました。

2. 日本保育協会沖縄県支部で 顧問弁護士を雇うことについて

加盟園295園

- 必要：118園（40%）
- 不要：1園（0.3%）
- どちらとも言えない：34園（12%）
- 既に法人で雇っているため不要：6園（2%）
- 無回答：136園（46%）



1. 適切だと思う
2. ありがたいです
3. よろしくお願ひします！
4. 気軽に相談出来る場をつくって欲しい
5. 団体が保育専門の弁護士を雇う事は賛成です
6. 何かあった時にすぐに相談出来る事ができたら心強いです！
7. いつも有難うございます。お任せしたいと思います。
8. 法人内で雇っているが、協会として雇ってもらうと、より安心できると感じる
9. 各園で顧問弁護士を雇うことは厳しいので組織の中に確立されていたら有難い。賛成です
10. 上記にも書かれているように、社会の変化による多様なニーズそして様々な課題に対応するために、協会での顧問弁護士の必要性を感じております。
11. トラブルが生じた時の対応として、法人では解決できない事項等に対し、相談等を行い、スムーズに解決できることを望むため必要だと思います。
12. これからの保護者対応等においては、弁護士の法的な意見は必要となってくると思いますが、また顧問弁護士がいる事で、無意味なクレーム等は減るのでないかと考えます。
13. 各施設での顧問弁護士契約は費用がかさむため賛成
14. 昨今の社会や保育業界のニーズ合った調査だと思います。単独で弁護士を雇うには大変な出費だと思いますので協会では是非お願ひします。
15. 団体でお願ひできると、困った時に保育業界のことがわかる方なので安心だと思います。法人では雇うには難しい。今の時代あらゆる面で保育関係に目が向けられており相談場所が欲しい。
16. これからの時代、職員・保護者との友好な関係をつくりたいが話合いの前に感情的なもので権利主張が先行して案件になることは想定されるかもしれませんので、専門的は第三者の介入は必要になるかもしれません。
17. 昨今の保育士による不適切保育等の問題点を鑑みても、支部で顧問弁護士を雇うことは重要だと思います。
18. 様々な問題が山積している昨今、各園単位では解決が難しいケースが多いと思うので、必要性を感じます。
19. ぜひ導入していただきたい。
20. ご提案ありがとうございます。顧問弁護士の費用がどのくらい必要かが分からないため予算が見合えば良いと思います。皆様の希望に合わせて欲しいと思います。
21. 保護者間トラブルなど法的観点で意見を聞いたりしたい
22. 専門にアドバイスいただけると思う。安心
23. いろいろな保護者がいますので、各園で対応するにも法律の専門の方に相談できる環境があること、とても心強いと思います
24. 多様な保育ニーズに対応し、様々な苦情解決等、協会での顧問弁護士を雇うことは大変心強く期待しています。
25. 事件・事故等があったときに相談できる弁護士がいたら、助かる為
26. もし、顧問弁護士がいたら凄く安心だと思います。今のご時世。本当に色々なことがありすぎて、この先も不安でしんどいのが多いので、もしいたら心強いと思います。
27. 様々な問題に対応する為に組織（協会）で顧問弁護士を雇う方が心強いと思います。
28. 又、全体で似たような事例の場合も対応がしやすいのではないかと思います。
29. もし、園で危機があった時に頼れる場所や物なので、その時に日本保育協会に加盟している事で相談等がスムーズに出来るなら考える余地はあると思います！
30. 園内で解決できない内容の事態が起きた場合があるとすれば、ご相談できる存在がいることで活用していきたいです。
31. 是非顧問契約を希望します。また、契約後に各施設独自に相談等できる内容だと大変うれしそうです
32. 顧問弁護士による講話も計画できる。先日の園長会で、弁護士による講話があり、大変勉強になりました。
33. リスクマネジメントとして必要だと思います。
34. 現状で必要に迫られているわけではないですが、保育団体に顧問弁護士がいて、いざというときに利用できるのは心強く感じます。仕組みが定着すると、いろいろと相談したいことが出てくると思います。

中立意見

1. 沖縄県支部で弁護士を雇用することはスケールメリットはあると思います。但し、近郊で気軽に相談等行えることが必要だと考えます。豊見城市園長会でも現在弁護士の顧問契約を検討進めております。
2. 常に誠意を持って対応しているつもりではあるが年々子育てしていることに厳しい社会情勢になってきているように思う。保育士や園も守っていかなければならない立場にあると思うので致し方ないのでは？
3. 顧問弁護士として雇う場合の契約の内容を明確にし、会員の了承を得る事が大事なかな
協会が顧問弁護士を雇うことで保育業界における問題に対して意見対応を仰ぐ事ができることも可能かと思われませんが、園独自のへビーな問題に対しては法人での弁護士が必要と思われるケースもあると考えられます。協会に雇うときの契約賃金等ごまかでの対応可能かは検討していく必要があるのではと感じます。
4. 園で弁護士を使ったことがあり、協会に相談できる弁護士がいると心強い。負担金額にもよりますが。
5. 市の法人園長会で顧問弁護士を雇う話し合いをしているので、動向による。
6. コスパとの兼ね合いか？年会費の増額が如何程になるかにもよるかも？
7. 園単独で弁護士が必要になる場合は、個別に費用などを負担することになると思われるので、会費で費用を負担する効果を考えて必要に疑問を感じる反面、事故に起因するトラブルやストレス等から職員を守るためには、協会も施設を孤立させないというメッセージを送ることも必要かと思う。
9. 利用する園が多いなら必要だと思えますが、必要性を感じない園が多い場合は顧問弁護士料が無駄づかいになるのではなかいか？と思っています。
10. 園で起きた問題を気軽に相談できればいいと思う。相談するのに細かい手続きがあると使づらい

活用方法に関するご意見

1. 定期的に、相談内容や、対応方法などを会員にの流してくださると、顧問弁護士がいるありがたみを感じられると思います。
2. 保育協会に弁護士を雇い、多くの保育園の相談や具体的な対応を積むことで、より保育園に特化した弁護士になって頂けたら、いざという時に保育園としてとても助かると思います。
3. 顧問弁護士雇用について、保育園・認定こども園等にかかわった弁護士を希望します。例えば、沖縄弁護士会一覽表から選別して、専門分野で保育園等で案件の多い誤飲・送迎事故等で関わった弁護士が望ましいと思います。
4. 弁護士がいることで園の実情を踏まえた適切な解決策を助言してもらい、また、誤った初動対応を防ぐことができると思っています。ですが、どれくらい距離感や頻度で相談を求めたいのか気になります。
5. 弁護士選定の際は、十分な調査の上適任者を選定してほしい
社会福祉施設（保育所、こども園、幼稚園）に特化した法律事務所グループと協会が情報を交換することで、施設や法人が抱えやすい問題にリスクマネジメント・リスクヘッジ・リスクアセスメントを専門家視点からの事例を示すことや、研修会・講習会を踏まえて知識となりたいと思います。
7. 混雑したときなどの対応なども考慮する必要があるかと考えます
いつも会員の要望に対応していただき、ありがとうございます。以前にも顧問弁護士との契約があったかと思いますが、その内容を参考に検討してはいかがでしょうか？ また、顧問報酬がどのようになるかが気になります。
9. クレーム発生時の相談だけでなく、他園でのクレーム内容の共有や予防策などの情報共有などが定期的にあるとありがたい。
お願ひしっぱなしではなく、定期的にアドバイス等がいただけるとうれしいです。
協会に契約するのはとてもいいことだと思うが、いざという時に力になってくれるか不安である。年に数回園長会で顧問弁護士の講話を聞き、先生を身近に感じる事が出来れば不安も解消すると思う。
10. 11. 10. いつからの予定ですか？
相談したい場合どこへ連絡するか（日保協か直接弁護士）知らせて欲しい
顧問弁護士の年間契約料を日本保育協会に支払い、トラブル対応ごとに弁護士に支払う報酬を各法人が持つことでしょうか？
雇う事になった場合、会員園へのメリットや、弁護士に依頼できる範囲はどのような事を想定していますか？
協会に雇う事になった際雇う際の費用は、どうなるのか？
雇う事で会員費が増額するのでしょうか？団体も多くの園が加入しています。
それぞれの園に対応できるのでしょうか？
必要だと思いが顧問弁護士を雇うことによりどれくらい費用がかかるのか？会費も増額になるのでしょうか？気になるところです。
9. 保育協会に加盟する施設や関連事業で、法的な問題が発生した場合に、どのように相談が出来るのか？
普段から顧問弁護士が法令遵守に関するアドバイスを提供してもらえないのか？
費用はいくらか？
顧問弁護士はどのような契約をするのか？また保育協会及び会員の利益を最優先にやってくれるのか？
13. 気になる点としては、費用と相談できる体制がどの程度なのか？という事です。苦情や事故等があった際に速やかに対応できるような形態であれば良いのですが。

質問

1. 必要だと思いますが、弁護士の活用方法、加盟園全体に対応できるか、具体策が見えない
2. 必要だと思うのですが、どのような時にどのような対応をしてもらえるのか、メリットなどを知りたい。
3. 雇い方の方法論になると思います。全国で一人か、支部ごとか、どこまで相談できるのか等
4. 支部で顧問弁護士を雇っている場合経費的にどうなのか？その経費を会員全員で負担すると思うが相応の額なのか？事が起きた場合顧問費用とは別に事が起きた園が別にその費用を負担するのか、それとも全員で負担するのか？詳細がわからないのでどちらともいえない
5. 1名の弁護士で全会員の相談がどれだけ対応できるのかが心配ではありません

まとめ

今回の顧問弁護士のニーズに関して半数以上の賛成意見を頂いた一方、金額や相談内容等が具体的ではなかったため、顧問弁護士を設置するために、会員の皆様から上がった質問等に丁寧に回答する必要があることが分かりました。また、半数近くの園が無回答だったという事を踏まえ、現時点では日本保育協会沖縄県支部での顧問弁護士契約は不採用と考えている園が多くあるのではないかと推察されます。
近年、保育施設に関する様々なニュースが報道され、福祉施設運営者の不安感や悩みは増す一方です。各施設で10年前では考えられなかったような対応を迫られていたり、難しい案件の話や不安になったりと保育業界を取り巻く課題は山積です。このような社会の変化と多様なニーズに対応するために、日本保育協会沖縄県支部として確りと会員園のご意見を受け止め、顧問弁護士以外にできることを模索し続ける必要があると考えております。お忙しいなか、アンケートへのご協力ありがとうございました。



2022年(令和4年)12月1日(木)

発行：日本保育協会沖縄県支部 支部長：幸田すがよ 編集：広報部/連絡先：098-884-5795

南国沖縄にも朝夕は涼しい風が吹き秋の気配を感じられるようになりました。

10月、11月は、運動会シーズンを迎え、全国各地でウイズコロナの対策を講じながらの活動が徐々に増えつつあるように感じる今日この頃です。各園におかれましては、安全面に配慮しながらも子ども達の活動に苦慮されていることとお察ししております。

一方、子どものバス送迎にまつわる事故や園内での死亡事故、路上での交通事故など悲惨な事故も後を絶ちません。私たちにあっては、これらの事故は他人事ではなく、日々の



支部長あいさつ

日本保育協会沖縄県支部 支部長 幸田 すがよ

活動の一コマであり、重点課題であると認識しています。有識者からの提案や先進自治体の主な取り組みなどがあり、今後は安全対策の勉強会等の計画をし、安全運営に注力していきたいと考えているところであります。

さて、以前にもご案内しました、子ども家庭庁設置法案他が第208回通常国会で可決されたことにより令和5年4月1日から創設されることと決定されました。子ども家庭庁は3つの部門で構成され、それぞれの基本方針は以下の通りです。

◆企画立案 総合調整部門

これまで各府省が別々に行ってきた子ども政策に関する総合調整機能を一元的に集約した部門

◎子ども政策に関する大綱を作成・推進

◎個々の子どもや家庭状況、支援内容等のデータベース整備

◆育成部門

子ども達の安全・安心な成長に関する事務を担う部門

◎保育園 認定こども園、幼稚園で共通の教育・保育内容の基準を文科省と共同で策定

◎「日本版DBS」の導入を検討(子ども達を性犯罪から守るための仕組み)

◎「CDR IIチャイルドレビュー」の検討(子どもの死亡情報・原因)

◆支援部門

児童虐待やいじめ、ひとり親家庭など様々な困難を抱える子どもや家庭の支援を担う部門

◎いじめ対策

◎「ヤングケアラー」の支援

◎施設や里親のもとで育った若者の支援

◆◆◆

来々4月1日の「子ども家庭庁」の創設に向け、私たちが果たす役割や連携項目について学び、然るべき時に備えていきたいと考えておりますので、未来を担う子ど

令和4年度 第71回 定期総会

日時：令和4年5月23日(月)
場所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール
主催：社会福祉法人 日本保育協会沖縄県支部

5月、第71回定期総会を滞りなく終えることができました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



もや若者たちのためにも、会員各位のご理解とご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

日本保育協会沖縄県支部、新体制でスタートして半年が過ぎました。会員の皆様のご協力のおかげで、研修会等計画通りに開催し、盛会に終えることが出来ております。コロナの方は、まだまだ変異する新型ウイルスのパンデミック対策に断念を許さないう状況は続きそうですが、健康に気をつけながら、今後も沖縄県支部の活動に力を入れていきたいと考えております。

★★新加入園紹介★★



社会福祉法人 たこふじ福祉会 とみしろほいくえん 【豊見城市】

豊見城市高安にて2022年4月1日に開園しました。乳幼児期において、「ワクワク・ドキドキ」する豊かな体験こそが、子ども達の未来を創る大事な土台であり、保育者も「ワクワク」するような園づくりに取り組んでいます。この度、お声を掛けていただき、縁あって新加盟させていただきました。今後ともよろしくお願いいたします。



副園長 大城 和也



社会福祉法人 友和福祉会 ひがしの空保育園 【うるま市】

ひがしの空保育園は、令和2年4月に開園致しました。開園後すぐにコロナウィルスの感染拡大により、開園休業状態が続く。大変混乱した中での運営でしたが、主任、副主任、事務長を中心として職員が頑張り、今では外部講師を専属で付けた学研教室を導入し、また「非認知能力」を育てる体育のFCAスポーツアカデミーと、音楽教育だけではなく、子供達に様々な刺激と与えられるリズムを導入致しました。去年の12月頃から保育士の5領域の学び直しと、「非認知能力」の勉強会を、沖縄こども創造支援機構の小松先生を担当として毎月お呼びして、研修を受けております。卒園児たちが、うるま市の地域資源として活躍する事を願っております。令和5年4月から認定こども園への移行を検討しております。



副園長 吉本 茂史



社会福祉法人 同仁福祉会 わくわくほいくえん 【うるま市】

(福)同仁福祉会は、昭和57年にのびのび保育園、平成19年にすくすく保育園(平成31年〜すくすくこども園)、令和4年4月わくわくほいくえんを開園しました。当法人は、子ども一人ひとりの発達過程を踏まえ「今」を大切に、のびのびと活動できる豊かな環境を整え、様々な経験や体験を通して自分らしく生きる力を育むこどもたちの育成を基本理念として、子どもの主体性を大事にした保育に取り組んでいます。今後とも地域の子ども達、子育て家庭の福祉の向上のため、精神誠意、保育に取り組んでいきます。今後ともご指導よろしくお願いいたします。



副園長 読谷山 妙子



社会福祉法人 わかめ福祉会 兼原こども園 【うるま市】

うるま市立兼原幼稚園閉園に伴い、社会福祉法人わかめ福祉会がうるま市復興記念会館跡地に新園舎を建築し、令和4年4月1日より「公私連携幼保連携型認定こども園 兼原こども園」として運営を開始しました。

兼原幼稚園が大切にしていた「いっぱい遊んで、遊びの中で学び成長する」という方針を大切にしたい保育・教育を行っており、園庭には、「遊ぶだけでなく、子どもの健全育成に必要な身体的・社会的・知的・精神的・情緒的、5つの側面をバランスよく育むことができる」大型遊具を設置しています。開園1年目の園でのめざすは「子ども達、保護者、職員、皆楽しく」を目標に日々過ごしています。



副園長 田 港 朝 世



社会福祉法人かなさ福祉会 公私連携幼保連携型認定こども園 勝連こども園 【うるま市】

令和4年うるま市認定こども園移行に伴い、市立勝連幼稚園から社会福祉法人かなさ福祉会公私連携幼保連携型認定こども園「勝連こども園」が開園しました。勝連こども園は、園児数定員75名、職員21名で勝連小学校と併設しており、児童公園、公民館、きむたかホール、図書館等が隣接し、勝連地区の中心地として穏やかで閑静豊かな地域に位置しております。

「生きる力・強い心を持つ子どもを地域とともに育てる」を教育・保育理念として、地域・家庭の教育力の向上を図り、小学校との連携を積極的に「実生活子ども・明るく子ども・元気な子ども・考える子ども」を目標に地域や家庭の子育てに寄り添い、安心して子育てができる環境で保育・教育を行っています。今後も日保協会員の皆様とともに子ども達の最善の利益を考慮し邁進してまいります。



副園長 外間 圭 子



社会福祉法人 祥栄福祉会 きらら保育園 【中城市】

きらら保育園は、認可外保育園から認可移行し、平成27年4月より小規模保育事業A型としてスタートいたしました。「相手の気持ちに寄り添える心を育む」を軸に、子ども達が日々楽しいと思えるよう子ども達一人ひとりに寄り添い、保護者の方が安心して預けられるよう保護者の方との細やかな連携を大切に、皆が笑顔で幸せに生活が送れるようなアットホームな園を目指しています。



副園長 嶋 村 利 恵



社会福祉法人 清心福祉会 平得わらべ保育園 【石垣市】

平得わらべ保育園は社会福祉法人清心福祉会の中では20園目。法人の中では初めてとなる認定こども園として、令和3年10月1日に開園いたしました。「健康な体をつくる・豊かな心を育てる」を保育目標に、年長児の担任を中心に外遊びと子どもヨガ、食育の一環としてフードサイクルプロジェクトに取り組んでいます。開園からまだまだ間もないですが、子どもたちが毎日笑顔で活動に取り組みながら心と体の軸を作り、自分自身を認めるために自信をもって育っていったらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



副園長 中 村 真 実

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになれたらと思っています。

「子どもが選択し集中すること」を支える保育

【糸満市】社会福祉法人大成福祉会 みつる認定こども園



様々な素材や教具が整理されていて、そこから子どもが選んで活動を展開する。小さいころから選択することを大切にしているので、自分で選び、自分で考えて実行し、やり遂げるという体験が積み重ねられるようになっている。



日常で、子どもが一人で出来ることを手伝っている。子どもの集中力は、適切な教具があれば、高いものになる。長さ、高さ、重さ等、細やかな配慮が行き届いている中で、子どもたちは集中して活動を展開している。



園庭には、大きな築山がある。子どもが芝山に登ると、大人の視線を超えられる。この前はその芝山の周りをトンボが沢山飛んでいて、大喜びで駆け回る姿があった。



掲示物も出来るだけ本物に出会えるように配慮している（左写真は0歳児室内）。また、子どもの興味ある物（車系や食べ物など）や季節に関する掲示物を掲載するようにしている。5歳児の部屋の前には地球儀や世界地図のパズルがある（右写真）

みつる認定こども園では、気付き・響き合う保育を理念としながら、モンテッソーリ教育をとりいれています。質の高い環境を整えて、子どもが選択し集中することを支えて、子どもの成長を支えています。また、保育者もディプロマの資格を10名ほど取得しています。



みつる認定こども園
主幹保育教諭
玉城 章子先生



みつる認定こども園
園長
玉城 智彦先生

なんでも褒めるのではなく、本当に素敵なことをした時に、褒めるようにしています。一方で、完璧でないものに対しては、否定はしないようにしています。自分でみて、美しいかどうが感じることや整った時の心地よさを感じることを大切にしています。最初から出来ること面白くないです。子どもが棒を一生懸命並べていて、少し違っていても、その集中力やプロセスを大切にしたいと思っています。

園舎は、3年がかりで設計しました。0・1・2歳児専用の園庭を設けたり、室内のホールで運動遊びが出来るようにしています。夏場は、専用のプールを使えるようにもしています。また、周りの自然を取り入れられるようにしています。園庭で、絵を描いたり、ポディーペンティングや水鉄砲でTシャツづくりを楽しんだり子どもの豊かな感性と表現を引き出したいと思っています。また、地域支援にも力を入れていて、水曜日には希望する保護者は見学を受け入れています。

この前、感動した出来事がありました。9月17日の運動会で、保護者挨拶がありました。話を聞き、数名で「〇〇さんのお母さんって挨拶上手だね」と話していました。このように、子どもは、大人以上に聴く力があることを知りました。そして、何より大切なのは、職員一人一人の存在だと思います。先生があつての保育であり、みんなで協力しながら保育を行うことを大切にしています。

動画CHECK!!



▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになればと思います。

「豊見城市」社会福祉法人ゆたか福祉会 ゆたか認定こども園 「保育者と子どもの主体性（共主体）を大切にした保育」



「だるまさんが転んだ」で遊ぶ子どもたち。輪っかの中が安全基地。先生の後ろのテーブル上にある宝物ゲットすることを目指す。日常の遊びが運動会へ繋がる。



室内遊びでは、子どもの興味・関心を捉えながら環境構成をしている。構成遊びやごっこ遊び、探究活動、ほっと一息くつろげるような絵本エリアなどがある。



4歳児のお部屋で2歳児も一緒にごっこ遊びを楽しむ（左写真）。園庭では、年上の子が水を引き出し、下の子が水をカップに入れる姿も見られた（右写真）。このように、室内や戸外で、自然と異年齢の交流が見られる場面があった。



室内の製作遊びをしたくなるような環境構成。子どもの興味関心に添って、環境を作っているのが、製作遊びが盛り上がる。また、季節を感じられる自然物も置くことで、その時期に応じた表現遊びも楽しめるようにしている。



ゆたか認定こども園
主幹教諭
玉城 茜 先生

ゆたか認定こども園は、研修を通じた学びをきっかけに、保育者と子どもの主体性を大切にされた保育に向けて取り組んでいます。様々な遊びのメニューを用意して、子どもが遊び学べるようにしています。また、行事も、子どもの興味・関心から、子どもの育ちにつなげていけるようにしています。

初めはどうしていいか分からなかった。職員が考えて環境をつくらないと、子どもも考えなくなってしまう。なぜ、その活動をやりたいか、子どもの何を育てたいから活動するのか。そうやって、職員同士学び合いながら行っていきました。そうすると、子どもたちの興味関心から保育を考えるように変わってきました。

また、異年齢交流や縦割り活動を充実させていきたいと考えています。縦割り保育は、どういうふうにもっていったらいいのかが難しかったです。午前中の活動をできるだけ異年齢でやってみたらどうか？など試行錯誤しながら保育をおこなっています。

2020年ごろから、月の製作（自由画帳）というのも見直しました。子どもの表現は、決められて追われてやるのでないという思いに至りました。苦手な子にやらせないといけないのは、お互いに苦痛になるからです。例えば、普段の生活や遊びの中で、葉っぱを拾ったら製作に繋がっていくようにした。必ず全員同じのをやりましょうという表現ではなくて、日常の些細な活動からやれば表現が豊かになることを実感しています。

これからは、保育者の主体性も大切にしたいと思っています。もっと先生が楽しんでいるから、子どもも興味が出てくるからです。保育者が楽しそうであれば、子どもたちも嬉しそうに遊んでいる姿を見かけます。もちろん、手厚く行うことが全て良いとは限りません。手をかけず目をかけることも大切です。大人の我慢が必要な時もあります。子どもとの距離感は、これからも検討していきたいと思っています。

動画CHECK!!



▲こちらを読み取る
動画をご覧頂けます

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになればらと思っております。

「名護市」社会福祉法人あい福祉会 あい保育園 「様々な地域の資源を活かした 保育の質」



地域の広場で行われた運動会リハーサル。どの役も子どもたちが一通り経験できるようになっている。また、幼児も乳児ものびのびと活動している。全体で行われるオープニングエイサーを始め、広場を上手く活用しながら様々な魅力溢れる活動が展開されている。



保育園の外階段から見える景色。子どもが広場で活動している様子を眺めることができる。このように、豊かな地域資源が隣接している。



階段踊り場にあるホウライカガミとシークワサー。シークワサーは、実りの時期になると、子どもたちが収穫して食べることができる。自然と食育活動に繋がっている。



保育園のエントランスにあるプランター。毎年、地域の方(卒園児の祖父母)が、その季節に合わせた植栽を植え付けてくれる。(10年目を迎え、毎朝の水かけもして頂いている。)



また、地域における広場や自然物以外にも、そこで生活する人々とつながり合いながら保育をおこなっています。例えば、卒園児の祖父母が毎年、季節に応じた花(マリーゴールド・百日草・ペゴニアなど)をプランターに植え付けてくれ、ペゴニアが満開中、卒園式や入園式を行っています。

あい保育園は保護者会活動も盛んに行われています。公園の草刈り作業、園庭の整備、園の行事への参加して頂いております。

あいい保育園は、毎年、運動会は地域の広場で行っています。0〜5歳児まで、ここを利用しています。行事以外の普段の保育でも、その広場を活用しながら遊びや生活を展開しています。

日頃の保育では、この広場の斜面を使って遊ぶこともあります。平らではなく斜面なので、子どもたちも喜んで色々な遊びを展開しています。また、この広場の整備は、保育者や保護者も一緒になって草刈を行うこともあります。夕涼み会もこちらで行いますので、地域共同となって活用させて頂いています。

その階段を降りていく時に、目に止まる位置に、オオゴマダラの食草であるホウライカガミが植えています。そうすると、地域の蝶々がそこにやってきて、卵をうみ孵化して金色の蛹となり、また蝶々になって地域へ飛んでいきます。このように、園内と地域の自然環境が豊かな循環をもたらしています。



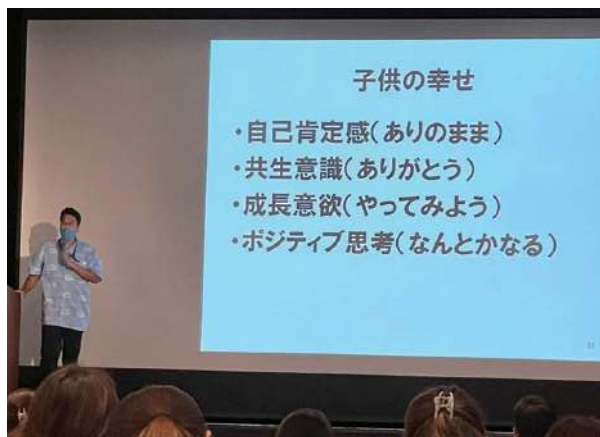
あいい保育園
園長 山川直子先生

動画CHECK!!



▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

令和4年度 主任保育士・主幹保育教諭研修会

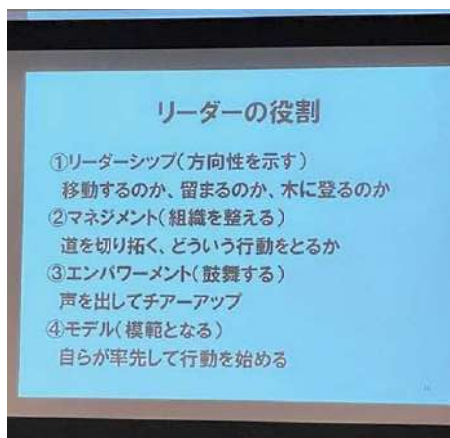


- 幸せの定義
(前野隆司教授の研究による知見)
- 自己肯定感
①(ありのまま)、②共生意識(ありがとう)、③成長意欲(やってみよう)、④ポジティブ思考(なんとかなる)
- 自己肯定感が低い人に対して、お誕生日会を行うと高まっていく
例・子どもが「プロ野球選手になりたい」
↓大人「あなたならできるよ」(可能性低いということを言わない)。
- このように綺麗な事(幸せなど)を具体化して見えるかしていく。



日時：令和4年9月29日(木)13時～16時30分
場所：ハーバービューホテル
講師：一般財団法人 親学推進協会理事 杉本哲也氏

- リーダーの役割とは
 - ① リーダーシップ
(方向性を示す)：理念を明確にする
 - ② マネジメント
(組織を整える)：役割分担、進捗状況を確認する
 - ③ 園パワーメント
(鼓舞する)：適度に認める、できていることを褒める
 - ④ モデル
(模範となる)：自分自身が理念・原理原則を徹底する
自らが率先して行動を始める
- この中で、②④が役割として重要で、主任がこの役割を果たしていれば、園がうまく回る。
ちよっとしたミスも本人の判断の中で、経験させてあげる。



教育の世界に限らず、日常場面でもよく引き合いに出される言葉に、「啐啄同時(そったくどうじ)」という禅語がある。啐啄同時とは文字通り、鳥の雛が卵から産まれ出ようと殻の中から卵の殻をつついて音をたてた時、それを聞きつけた親鳥がかさず外からついばんで殻を破る手助けをすることを意味する。これが「啐」と「啄」の関係であり、互いが響同||協同|合った時、新しい何かが生ずる。

だから、子どもが話しをしやすいように、ヒントを提供(卵の殻を突く)してあげる。一方で、突き過ぎるとよくない。そのさじ加減が重要。このような視点で、子どもとの関わりを一つ一つ見ていく。

プロとはどういう意味か?

Professional(玄人) ← → amateur(素人)

感性…目で見えない物を観る・感じる
例えば、保護者対応の仕方は、技術的なものだけではなく、コミュニケーションをとること。共有すること。情報共有しないとイケない。綺麗な言葉使いをしていれば良いのではない。そうではなく、子どもの育ちを共有していくことが大切。





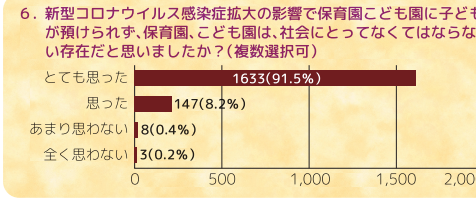
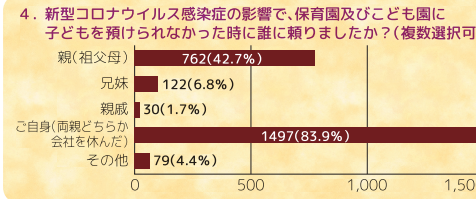
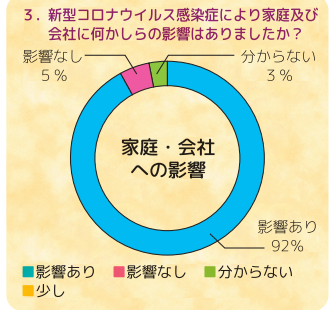
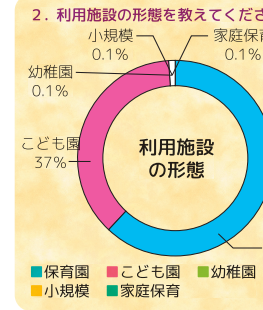
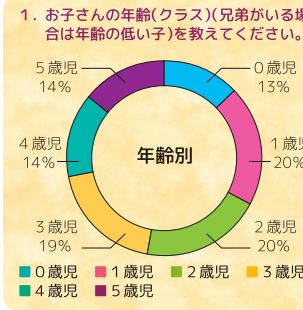
◀日本保育協会沖縄県支部HP

2022年(令和4年)6月1日(水)

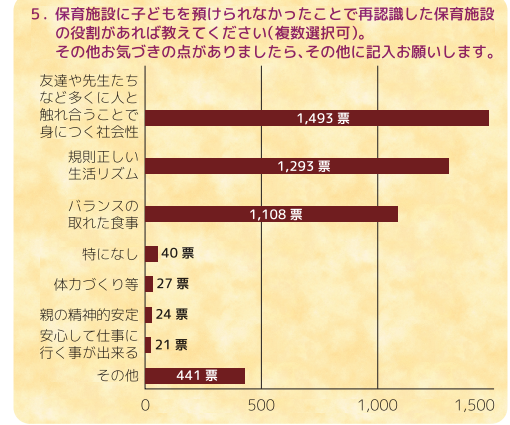
発行：日本保育協会沖縄県支部 支部長：幸田すがよ 編集：広報部/連絡先：098-884-5795

「保育園及び子ども園に対する意識調査」アンケート集計

調査：日本保育協会沖縄県支部調査研究部 / 期間：2022年2月1日(火)～2022年2月28日(月)
対象：保育施設利用者(保育園、子ども園、幼稚園、小規模保育園等) 回答件数：1,785件



7. 園が休園又はクラス閉鎖の時に何か困ったことがあれば教えてください。(一部抜粋)
- ① 食事・規則正しい生活・集団生活の中での学び
 - ② 外出制限が続く中で遊びの限界
 - ③ 本人は保育園へ行きたがるが、登園させてあげられない事
 - ④ 収入減
 - ⑤ 特別休暇がなく、有給消化や欠勤になったこと
 - ⑥ 預け先の確保
 - ⑦ 仕事を辞めざるを得なくなったこと
 - ⑧ 臨時休園の急なお知らせ
 - ⑨ 保育施設の対応の遅さ
 - ⑩ 産休・育休中の家庭保育のつらさ



8. お子さんが、保育施設に通園することで成長したと感じることがあれば教えてください。(一部抜粋)
- ① 社会性
 - ② 協調性
 - ③ 生活習慣(規則正しい生活リズム含む)
 - ④ 自立心・自分でしようとする姿
 - ⑤ 言葉・コミュニケーション
 - ⑥ ルールを守ることや我慢をすることができるようになった
 - ⑦ 月々の行事でできることや学んでいる(知育・運動遊びなど)
 - ⑧ 家族ではできないことや我慢を学んでいる(知育・運動遊びなど)
 - ⑨ 家族以外の(友達・先生)との関わりによって色々なことを学んだと感じる
 - ⑩ 食育・偏食の軽減

9. 保育園、子ども園に対してご意見、要望がありましたら教えてください!(一部抜粋)
- ① 先生や周りの方々には日頃から子ども達の事を考え、配慮しながら保育していただいている事すごく感謝しています。このコロナ禍で、より一層、保育園の存在の有り難さが再確認しました。
 - ② 長いお休みの間に、体調どうですか? 変わった事はないですか? など、園児や保護者を気にかける配慮があったら情緒面何も相談できたり、安心したりする子育て支援につながるのかなと思う
 - ③ 家庭保育の必要性は理解した上で、もう少し柔軟に土曜保育等に対応して欲しい。午前に登園出来ない場合は午後からの登園を遠慮するように伝えるのは、仕事をしている親にとってはかなり酷。園内研修も行われているようだが、担任へ連絡が伝わっていないことも多々あり、何度も説明したりこちらが伝えてないと思われることも多々ある。保育園の必要性については全ての親が十分に理解していると思うし、今後は費についてのアンケートが必要であると思う
 - ④ 保育園、子ども園の存在はともありがたく思っています! 保護者としての協力や要請には今後も応じていきます! もっとあったら言うてもいいんじゃないでしょうか…。この数年、保育園希望の枠には入っていませんが、じゃあ定員を増やせるとしたら、先生達の何の仕事の省くことで余裕が出来ますか? 役所が弾力化してくることで、何ができなくなりますか? 役所に現場のことを頭に入れてください!
 - ⑤ 家庭保育中も園で行っている、リズムクや歌、工作や塗り絵等紙ベースやDVD等で見れたり出来たら園との関わりも持てて子ども達のストレスも減ると思う。
 - ⑥ 今月、職場でいじめに合い退職したので、うつ病、パニック障害を持っている為、療養中なので、土曜日気兼ねなく保育園に預けられたら非常に助かります。
 - ⑦ 親は仕事しない家族を守れない生きていけません。保育園の在り方として医療従事者の次ぐらいに優遇されて休園しないような仕組みを検討して欲しい。
 - ⑧ 早く登園させたいです! 家庭保育の限界を感じています。特に親が病気を患っていたり、周りの支えがない場合、子どもにとっては保育園にいる時間の方が心の拠り所となっている場合があります。例えば、虐待を見つけない機関であるので、この自粛期間でそういう子の対応はどうなっているのか怖い。毎日保育園や市町村から連絡があるわけでもありません。その辺りの強化を忘れてははいけません。
 - ⑨ 保育参観やイベントというより、日々の園での様子ややっていること、習得したこと、何を目標して何をやっているのか、などが分かるような仕組みが欲しい。他園では工夫しているところもあるのでは、周りがどんなことをやっているのかも参考にして欲しい。日常の取り組みは素晴らしいので、それを「見える化」して欲しいのとでも勿体無いです。
 - ⑩ いつも本当にありがとうございます。この厳しい中、先生方本当に大変だと思います。私たち先生方がいてくださるおかげで、生活を維持できたりしているの感謝しかないです。どうかお体に気をつけて、先生方も少しでも休めますように。

支部長あいさつ

日本保育協会沖縄県支部 支部長 幸田 すがよ

このたび、令和4年3月に開催されました理事会及び総会にて承認いただき支部長に就任いたしました幸田でございます。

副支部長在任中には大変お世話になりました。今後は、会員の皆様に寄り添い、皆様の想いを協会の責任者として国や県および関係機関に要請し実現することを大きな使命とし、微力ながら誠心誠意、努めてまいります所存でございます。前任の安座間葉子支部長と同様に、会員の皆様のご理解とご支援ご協力を新組織へ賜りますようお願い申し上げます。

この法案は、総理大臣直属の司令塔組織としての行政の縦割りを

さて、全世界に猛威を振るう新型コロナウイルスの対策に追われ、2年が経過しました。その間、まん延防止重点措置や緊急事態の発令により、経済の停滞をよぎなくされ、私たち保育園・認定子ども園の運営も色々な面で影響を受けました。一日も早くこの状況が終息することを願うばかりです。

一方、子ども達を取り巻く環境も大きく変わろうとしています。会員の皆様も既にご承知のとおり、国会では「子ども最善の利益」を第一に考える「こどもまんなか社会」の実現を目標に、こども家庭庁設立法案等の令和5年4月1日施行に向け審議が始まりました。

この法案は、総理大臣直属の司令塔組織としての行政の縦割りをなくし、子どもの権利利益の擁護、子どもや家庭の福祉・保健の支援等が目的になっています。

この法案の成立により子ども達を取り巻く社会環境の整備が進み基本的な政策や子ども・若者育成支援に関する企画・立案が総合的に調整されることを期待しています。現場を預かる私たちもスキルアップを図り、この新たな動きに順応できるように、学んでいかなければならないと思っております。

会員の皆様と共によい良い支部活動を行っていきたく思っておりますので、各地区・専門部でも活発なご意見を寄せて頂きますようお願いいたします。

★ 支部長	幸田 すがよ	牧港ひまわりこども園
★ 副支部長	玉城 真澄	豊見城こども園
★ 志良堂 貴子	しいの実保育園	
★ 佐喜真 秀輝	ゆうわ認定こども園	
★ 中部・北部地区理事	比嘉 良寛	わかたけ保育園
★ 中部地区理事	比嘉 裕	勢理客こども園
★ 那覇地区理事	宮城 貴子	第2愛心こども園
★ 南部地区理事	松原 正太	松の美こども園
★ 先島地区理事(宮古地区)	砂川 美恵子	心愛保育園
★ 先島地区副理事(石垣地区)	宮良 長利	みよし保育園
★ 研修部長	宮城 忍	たけのこ保育園
★ 事業部長	比嘉 順	すがやま保育園
★ 新里 順	順 優	コスモストーリー保育園
★ 広報部長	順 順	大育保育園
★ 女性部長	照屋 明美	新島こども園
★ 青年部長	照屋 盛道	新島こども園
★ 調査研究部長	大城 卓	みなみ保育園
★ 顧問	玉村 八重子	愛心こども園
★ 久高 ケイ子	八重子	松田保育園
★ 安座間 葉子	ケイ子	天願こども園
★ 石川 直元	直元	喜名保育園
★ 監事	川 直元	あい保育園

2年間どうぞよろしく申し上げます! ~役員一同~

日本保育協会沖縄県支部役員紹介

令和4年4月1日~令和6年3月31日